第２学年　道徳学習指導案

１　主　題　名　　Ｂ－（７）感謝　見いつけた！たくさんの「ありがとう」

２　教　材　名　　なかよししゅうかい　　（出典「あかるい　こころ」）

３　主題設定の理由

(1) 子どもの姿について

本学級の子どもたちは、明るくとても元気である。休み時間には、男女関係なく鬼ごっこをしたり、絵を描いたりして遊んでいる。困っている友達がいると、「どうしたの」と優しく声をかけている姿が見られる。しかし、そのときに「ありがとう」と感謝の気持ちを自分から伝えられる子は少ない。それは、感謝の気持ちを「ありがとう」と言葉で伝える意識が薄いからだと考えられる。一学期に、子どもたちに「ありがとう」の言葉をどんなときに使ったか尋ねてみたところ、「おじいちゃんがアイスを買ってくれたとき」といったように自分に対して目に見える利益があったときに使っている子が多くいた。一方で、下校時に教室に忘れ物を取りに戻るとき、待ってくれていた友達に対して感謝の気持ちを伝えられる子は少なかった。目に見えるものに対して感謝の気持ちを伝えることはできるが、目に見えない厚意に気づく子は少ない。

「ありがとう」という感謝の言葉は、温かい人間関係を築くための大切な言葉であると考える。身の回りにある親切や思いやりに対して、それを当たり前のこととしてとらえている子が多い。感謝の気持ちを言葉に出して伝えることは、伝える方も伝えられた方も心がぽかぽか温かくなり、優しい気持ちになれることを子どもたちに実感させたい。そして、身の回りにある思いやりや小さな親切に気づき、感謝の気持ちを伝えられる子になってほしい。「ありがとう」という言葉が飛び交う、優しさあふれるクラスになることを期待する。

(2) ねらいとする価値について

子どもたちの生活は、たくさんの人々の善意や愛情によって支えられていることがわかる。自分の身の回りの人たちの温かい思いやりや親切に対して、素直に感謝する気持ちをもつことは、よりよい人間関係を築くうえでとても大切なことである。そこで、自分の身の回りの友達の親切に気がつき、感謝を表現しようとする心を育てたい。

(3) 教材について

本教材は、主人公で２年生のひろこさんが「なかよししゅうかい」の最中、自分の不注意でシールを貼るためのカードをなくしてしまう話である。そんなひろこさんのために、同じグループのお兄さんやお姉さんたちはカードを探したり、励ましたりする。そのような出来事を通して、周りの人へ感謝の気持ちを伝えることの大切さを実感できる教材である。子どもたちに教材を提示する際には、教材にある「お姉さんありがとう。みんなもありがとう。」の部分を提示せずに役割演技で子どもたちに考えさせる。ひろこさんになりきって演技をしたり、どのようなことに対しての「ありがとう」なのかを考えたりすることによって、今まで気づかなかった身の回りにある親切や思いやりを伝えることの大切さに気がつくことができるだろう。

４　子どもの心を揺さぶるための手だて

・理解を助けるイラストや言葉を提示する

子どもたちが場面の様子を理解しやすく、豊かにイメージを膨らませることができるよう

に、人物のイラストや重要な言葉の提示をする。

・役割演技

登場人物になりきることで、より深く心情を考えられるように役割演技を取り入れる。

５　本時の学習

(1) 目　標

　　　ひろこさんの気持ちを考えることで、身の回りにある親切や思いやりに気づくことがで

きる。

　(2) 学習過程

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習段階 | 児童の活動 | 教師の手だて |
| 導入  （５分）  展開  （35分）  終末  （５分） | １　感謝について考える  ・感謝はお礼ってことかな。  ・ありがとうと一緒の意味なんだ。  ２　話の前半を聞き、うれしさが半分だったときのひろこさんの気持ちを考える  ・カードがないから嫌だな。  ・大事にカードを持っていればよかったな。  ・カード見つかるかな。心配だな。  ・シールが貼れない。困ったな。  ひろこさんはどんな気持ちでお礼を言ったのかな  ３　話の後半を聞き、ひろこさんになりきってカードを受け取る活動をする  お兄さんたち：大丈夫。きっと見つかるよ。  お姉さん：カードあったよ。  ひろこさん：「(役割演技で考える。)」  ４　誰にどんな気持ちで言ったのか考える  ・お姉さんが探してくれて嬉しかった。  ・自分が大事に持っていればよかった。  ・お兄さんたちが、励ましてくれて嬉しかった。  ・みんなが拍手をしてくれて、嬉しかった。  ・みんなが一緒に喜んでくれて嬉しかった。  ５　授業の中で心に残ったことを書く  ・ありがとうを言われるとうれしいな。  ・困ったときに助けてもらうと、本当にうれしいと思いました。  ・これからもありがとうをたくさん言いたいな。  ・○○君の意見を聞いて、私の周りにも優しい人がいっぱいいることに気づいたよ。 | ○感謝について目を向けさせるために、日常生活の中で「ありがとう見つけ」をし、帰りの会で発表し、その意見を教室掲示する。  ○視覚的に内容を理解することができるように、教材を場面絵やペープサートで提示する。  ○カードが見つかったときのひろこさんの気持ちに多面的に考えるために、ひろこさんが何と言ったか考える時間を設ける。  ○ひろこさんの気持ちを想像しやすくするために、役割演技を取り入れる。  ○気持ちを深く考えられるようにするために、「なぜそう言ったの」と問いかける。  ○感謝の言葉の裏にある思いに気づくように、発言に対して切り返しをし、多角的に考えられるようにする。  ○お互いの意見を後で見返すことができるように、板書をしていく。  ○授業で考えたことを更に深めることができるよう、新しく気づいたことや、心に残ったことを振り返らせる。  ○自分たちの身の回りにもよい行いをしている子がいることに気づかせるために、教師が目にしたよい行いを紹介する。 |

(3) 評　価

　　　感謝に対する視野を広めることができたか。　　　　　　　　　　（発言や授業中の様子）